



## 「命」こそ大切、「学び」こそ地域の宝 一人類の歴史と生きること

3月11日を迎え、日本各地や世界で5年前に起きた東日本大震災の追悼が行われました。未曾有の災害は多数の犠牲者とともに家や家族、故郷を失ってしまった人たちを始め、数え切れない人たちに深い傷と痛みを残しています。その中で、復興や復旧に向けて、将来の希望と夢を持って前進していく人々の姿は力強さを感じさせます。一方で、未だに立入が許されない避難区域もあり、痛ましい影響は依然として残っています。一歩ずつしかも着実に、よりよい道を探っていくことの大切さ、それは私たち一人一人にとって、さらに、その地域や社会、世界中の国々にとっても同様に、理解しなければならないことであり、行動に示す必要があることだと思います。

思えば人類の歴史が語るように、災害や戦争や事故などで、これまでの人命が失われてきました。命の大切さは、おそらくいつの時代でもいろいろな形で訴えられ、理解されてきたはずですが。科学技術や高度情報化とともに、ビジネスによって私たちは、想像もできないほどの豊かさを獲得してきましたが、環境問題や経済格差、少子高齢化社会など、さまざまな課題を抱えています。そして、私たちはそのような現状の中で、もがきながら、技術開発や課題の解決を探っていくことが求められています。それは、確かに社会そのものが必要としているものです。

ただし、うっかりすると知らず知らずのうちに、私たちは朝日や夕日の光景の素晴らしさや美しさを忘れて突っ走ってしまい、心のゆとりもなくなり、何が大切かを見落としてしまいます。では、何が大切なのか。さらに、地域創生と叫ばれ、地域の人口減少や経済分野の衰退に歯止めをかけ、地域の活性化を図る取組が国や各地方自治でされています。そこには、教育分野も含まれています。子どもの可能性を地域の将来に生かすことが学校には求められています。可能性とは何か、それは、「学ぶこと」「学び続けること」に他なりません。皆さんの学ぶ姿こそが、地域の宝なのです。そして、命を、それぞれの命こそ大切なんだとはっきりと深く認識することです。

日本人の平均寿命が80歳、地球も同様に誕生以来40数億を経て、今や壮年期です。科学が証明しているように約50億年後には、膨張する太陽に吸収される惑星です。歴史が語るように、人類を始め生物界が今後1億年後存在しているかどうかさえ、どうなるかまったくわかりません。

こうしてみると、私たちは信じがたい偶然の中に時間を与えられて生きていく、あるいは生きている、さらには生きさせてもらっている存在だということがよくわかると思います。皆さんの可能性に期待します。

耐震工事	畜産管理棟 1月～5月
3月	弥生 時候挨拶 春分 早春 春暖 春色
14月	卒業生を囲む会 インターンシップ報告会①② 学校生活アンケート
15火	答案返却①
16水	答案返却②
17木	入学許可候補者説明会
18金	大掃除 2年教室移動・整備 学年集会(2年) DV講演(1年)
19土	
20日	
21月	春分の日
22火	教室移動・整備(1年) 2年進路説明会
23水	1,2年生賞状伝達
24木	終業式 LHR 安全の日
25金	春季休業 ~4/5
26土	
27日	
28月	
29火	
30水	
31木	
4月	卯月 時候挨拶 春暖 春日 陽春 惜春
1金	平成28年度年度始め
2土	
3日	
4月	
5火	
6水	着任式 頭髪服装指導 始業式 大掃除
7木	入学式 1年生PTA理事会
8金	頭髪服装再指導 1年生オリエンテーション 対面式
9土	2,3学年学年集会 自転車点検
10日	
11月	1年生心電図 オリエンテーション
12火	1年生x線検査 1年生オリエンテーション 部活動紹介
13水	尿検査1次
14木	眼科検診①～③
15金	離任式

**終業式3月24日(木)です!**

### キャリア教育プログラム | 進学は進路をよく考えて-

#### 1. 2学年進路ガイダンス-

3月11日(金)1,2年生の希望者約100名を対象に、進路ガイダンスが行われました。まず全体会では、日本自動車大学の先生から、働くことや進路選択における考え方の基本となるガイダンスが行われました。

その後、自動車(日本自動車大学校)、建築(国際理工情報デザイン専門学校)、情報(船橋情報ビジネス専門学校)、美容(千葉美容専門学校)、調理(千葉調理師専門学校)、保育(千葉明德短期大学)の各先生方が各教室で詳細な説明をしていただきました。

#### 平成28年度第2次募集実施

募集人員 電気科 2名 志願者1名 0.5倍  
3月14日(月)第2次募集をしていた電気科で選抜が行われました。16日(水)合格発表が行われました。

## 最後の呼名に元気よく「はい」！—第10回卒業証書授与式挙行—

3月5日（土）第10回卒業証書授与式が体育館で厳粛に挙行され、230名の卒業生が巣立っていきました。同窓会長牧野昭様を始め、12名の御来賓が御臨席のもと、保護者の皆様も昨年度より約70名多く約300名以上の方が出席された卒業式でした。

卒業証書授与では、各担任から一人ずつ呼名された後、学科（クラス）総代が代表で校長先生から卒業証書を授与されました。

胸には、生産技術科2年生が製作した科カーネーションのコサージュ、御来賓や3学年職員、校長、教頭、進行などの職員にはコショウランのコサージュが飾られました。式辞で齊藤郁夫校長先生は式辞で、「これからは地域創生の時代です。本校で学んだ専門を中心とした学習で身に付けたことを生かし、地域を支え活性化を果たす人材になって欲しいと思います。」と述べられました。さらに、牧野昭同窓会長様から「人生は一期一会です。出会いを大切に歩いてください。」との祝辞が述べられました。

在校生送辞は、三浦大典さん（電気科2年 生徒会長）が卒業生との思い出を語りました。卒業生答辞では、山田紗津妃さん（生産流通科3年）がこれまでの3年間の高校生活を振り返りながら、朗々と述べました。

続いて、卒業の歌「仰げば尊し」、送別の歌「ほたるの光」斉唱の後、全員で大きな声で、校歌が流れると、涙をぬぐう卒業生の姿も見られました。

式後、保護者の皆様を代表して大沼様からお礼の御挨拶が述べられました。

授業や実習、数多くの行事が卒業生の残してきたものは、これまで育ててくださった御家族や指導してきた職員への感謝の気持ちでした。



輝く！頑張った成果

### 駐車場でも「感謝」の姿が輝く—野球部—

卒業式では、グラウンドが駐車場になります。前日は、野球部3年生がこれまでのグラウンドへの感謝を込めて駐車場準備、当日は朝から1、2年生の野球部員が先輩たちへの感謝を込めて自動車を誘導し、保護者の方を安全に案内していました。

### キャリア教育プログラムⅡ 新卒社員の先輩から生の声—先輩を囲む会—

3月14日（月）先輩を囲む会が実施されました。今回は、1、2年生が対象（昨年度まで2年生のみ）でした。さらに、より身近な存在である先輩社会人からのお話や懇談で、在校生たちの意識を大きく啓発しようという試みです。

出席者は、全員今年度4月に入社したばかりの先輩たちです。それぞれ約10分間の発表の後、5名を囲んで参加者全員でパネルディスカッションとしました。たくさんの質疑応答が出され、たいへん有意義な時間となり1、2年生も進路に向けての取組に意欲を出しているようでした。



1,2年進路ガイダンス（上・右上）



先輩を囲む会



インターンシップ報告会

### キャリア教育プログラムⅢ インターンシップ報告会と進路講話

3月22日（火）インターンシップ報告会が体育館で開催されました。今年の2年生は参加生徒が19か所51名で、その中の代表6か所が報告しました。1～3日間の経験の中で、会社業務や専門分野の理解にもつながったという感想が多く、進路に向けた意識づくりにも役だったといった報告が多かったです。今年は1年生も3名参加しました。質疑応答も活発に行われ、特に先輩社員や世代の異なる方たちとのコミュニケーションが最も苦労したとの回答が多かったです。

2年生は、引き続き進路説明会になり、進路選択における心構えや学校生活を送る上で大切にすることの講義がありました。

